

# 高等学校改革に関する主な経過

南信州広域連合

区分	長野県(教育委員会等)	南 信 州
平成17年 3月	県高校改革プラン検討委員会が最終報告書を提出 (高校は地域の文化的精神的センターであり、再編 の具体像審議は基本的には地域に委ねる)	
5月	5/13県下14校の削減数を公表(南信3校)	← 広域連合が削減数値目標を提示しないことを求める意見書を提出
	5/29高校改革推進委員会(全体会)	← 広域連合が削減数公表は遺憾であり、委員会等の審議に地域の意見を反映するよう意見書を提出 ← 広域連合議会が地域の機関や住民意見を反映させて推進するよう意見書を提出 ← 広域連合議会が南信州地域の市町村議会に高校問題の取り組みを要請
	6/24県立高校再編整備候補案公表 6/27第3通学区高校改革プラン推進委員会	← 各同窓会が県教委、県議会等に意見書提出や存続の要望活動 ← 広域連合が市町村教委連絡協議会と懇談会開催
6月	比較的近距離にある飯田長姫高校と下伊那農業高校を統合して総合学科の新たな高校とする。また、この新たな高校に定時制を統合する。	
	7/12第3通学区高校改革プラン推進委員会 7/20第3通学区高校改革プラン推進委員会	市、市教委等による高校改革問題シンポジウム開催
7月	8/18第3通学区高校改革プラン推進委員会 8/29第3通学区高校改革プラン推進委員会	
	9/9第3通学区高校改革プラン推進委員会 9/22第3通学区高校改革プラン推進委員会	
8月	9月県会一般質問で教育委員長が「卒業してどんな大学に行けそうかで魅力ある高校づくりがなされる」と答弁は後日ことば足らずだったと答弁	
	10/11第3通学区高校改革プラン推進委員会	
9月	10/13高等学校の未来検討委員会(第1回)	
	10/24第3通学区高校改革プラン推進委員会(第10回)	
10月	10/31高等学校の未来検討委員会(第2回)	
	11/10高等学校の未来検討委員会(第3回)	
11月	11/16高等学校の未来検討委員会(第4回)	
	11/23第3通学区高校改革プラン推進委員会	11/25飯田長姫高同窓会・PTAが飯田工業高との統合方針を決議

区分	長野県(教育委員会等)	南 信 州
12月	12/4第3通学区高校改革プラン推進委員会 ( 12月県会一般質問で教育長が「当初予定通りにまもっていた だけ」と答弁し、再編実施計画は来年3月までに策定する考 えを改めて示す。 ) 12/26第3通学区高校改革プラン推進委員会	12/2 高等学校の未来検討委員会(第5回) 12/16 高等学校の未来検討委員会(第6回) 12/20 高等学校の未来検討委員会が広域連合へ 代案等を答申
平成18年 1月	1/12第3通学区高校改革プラン推進委員会 1/18第3通学区高校改革プラン推進委員会	1/10 飯田工業・飯田長姫の関係者へ広域連合が経過 説明をし了解を得る 1/13 広域連合会議で飯田工業・飯田長姫の統合案等を 了承 1/27 広域連合会議で飯田工業・飯田長姫の統合案等を 了承
2月	1/30第3通学区高校改革プラン推進委員会 2/3第3通学区高校改革プラン推進委員会委員長が 県教委へ報告書を提出 2/17 高等学校改革プラン説明会(県文化センター)	2/10 広域連合長、広域連合会議議長が県教育委員 会、県議会へ代案等を要望
3月	3/30 臨時委員会で「高等学校改革プラン実施計画」 を了承	
4月	4/21 高等学校改革プラン実施計画説明会 (県文化センター) 4月～ 関係校による統合準備委員会	
5月		5/11 連合議会全員協議会において実施計画説明会 の状況を報告
7月	7/10 県議会で「統廃合は生徒募集を決める前に議決が 必要」との改正高校設置条例を可決 7/14 定例教育委員会で飯田風越高校家政科の普通科 転換を承認 7/30 飯田工業高校で新高校案の学校説明会を開催	
8月	8/1 飯田長姫高校が体験入学を開催 8/31飯田工業高校が体験入学を開催	8/24 臨時広域連合会議・連合議会全員協議会において広 域連合、広域連合議会として施設整備、募集時期延期等 について県教育委員会に要望することを決定
9月	9/6 臨時教育委員会において、一部の地域を除き 再編を19年4月から実施することの議案提出を決 9/15 臨時県議会において、一部の地域を除き19年 度からの統合議案を否決 9/26 臨時県教育委員会において、「長姫・工業の統 合は推進し、他の統合は凍結する。」との方針を決定	9/ 5 広域連合長、広域連合会議議長が施設整備、募集時 期等について県教育委員会委員長に要望 9/ 8 広域連合長、広域連合会議議長が施設整備、募集時 期について知事、県議会議長に要望
10月	10/12 県議会一般質問において、今後の方向を示す時期・ 地域合意に向けて努力する、南信州地域との意思疎通を しっかりしていく等の教育長答弁 10/17 県議会文教委員会において、高校再編は進めてい くの教育長答弁	10/11 広域連合会議において、「凍結ではなく全県の再編方 針を示して推進できるまでは当地域の統合準備は進めない」 ことの意志決定と県教委・知事・県議会への要望活動を決定 10/18 県議会一般質問や文教委員会の答弁において、今 後の再編方向が具体的となってきたところから、状況を注視 していくこととし、今回の要望は見送りとする。

区分	長野県(教育委員会等)	南 信 州
11月		11/20 高校再編に関する状況説明・意見交換会の開催 ・出席者：県教育委員会、市町村長・広域連合議会議員 (オブザーバー：同窓会関係者、学校関係者) 80 ・県教育委員会からは、高校再編は進めるべきもの。棚上げはしない。H19.6までには凍結ではない方向を示していく等の考え方が示された。
12月	12/27 新教育委員長の就任コメント 時の流れの中で状況とギャップがあるまま存続させるのはどうか。地元意見も必要だがノスタルジアだけではいけない。	
平成19年 1月	1/31 知事が市民団体との懇談の中で、今後の再編では議会の同意を義務付けないことが望ましいとの見解を示す。	
6月	6/14県教委は「高等学校改革プランの今後の進め方」を提示する。	6/21広域連合会議に、6/14日に県教育委員会から示された「高等学校改革プランの今後の進め方について」説明
7月		7/17飯田市議会全員協議会勉強会において、県教委から「高等学校改革プランの今後の進め方について」説明をうける。
8月		8/21南信州広域連合議会全員協議会において、県教委から「高等学校改革プランの今後の進め方について」説明を受ける。
10月		10/10広域連合会議において、県教委から「高等学校改革プランの今後の進め方について」を受けての対応について協議
11月		11/1高等学校の未来検討委員会において、県教委からの「高等学校改革プランの今後の進め方について」を受けて「飯田工業高校と飯田長姫高校との統合は、先行して進める。単なる統合ではなく、モデルケースとして、新たなものづくりの拠点校として設置することを強く要望していく。」の方針を確認 11/19南信州広域連合議会全員協議会において「高等学校の未来検討委員会」で確認された方針を了承
12月	12/19両校職員によるプロジェクトチーム発足	12/10広域連合長、広域連合議会議長が県教育委員会、県知事、県議会議長に要望
平成20年 1月	1/31長野県高等学校校長会より「高校再編について」(最終まとめ)が提言される。	1/11要望書に対する回答書を受領
2月		2/13広域連合会議において、高校改革についての検討小委員会の設置について協議 2/18南信州広域連合議会全員協議会において、高校改革についての検討小委員会の設置方針を了承 2/18南信州広域連合議会全員協議会において、議会に地域課題検討委員会を設置 2/29高等学校改革検討小委員会(第1回) ・新校のあるべき姿について検討し、広域連合会議・広域連合議会等へ提言することとする。
3月		3/6 高等学校改革検討小委員会(第2回) ・新校のあるべき姿について検討。 3/24議会地域課題検討委員会(第1回) ・委員会の当面検討課題は高校改革プランについてとする。 3/28高等学校改革検討小委員会(第3回) ・両校職員によるプロジェクトチームとの意見交換

区分	長野県(教育委員会等)	南 信 州
4月		<p>4/14 高等学校改革検討小委員会(第4回)            ・新校の基本理念を「基本的事項に関する整理」として集約。            4/16議会地域課題検討委員会(第2回)            ・本委員会が議会としての窓口となり、課題について検討し議事に報告することとする。</p>
5月		<p>5/1 高等学校改革検討小委員会(第5回)            ・県教育委員会との懇談会            新校の「基本的事項に関する整理」は大筋で理解が得られた。            5/2議会地域課題検討委員会(第3回)            ・新校の校地、施設・設備についても委員会として研究、検討することとする。            5/22高等学校改革検討小委員会(第6回)            ・プロジェクトチームとの意見交換会            新校の「基本的事項に関する整理」、教育内容(学科)について            5/22議会地域課題検討委員会(第4回)            ・両校についての資料を基に検討</p>
6月	6/11「長野県高等学校再編計画の骨子案」を決定	<p>6/5 高等学校改革検討小委員会(第7回)            ・県教育委員会との懇談会            高等学校再編計画の骨子案、1学年の規模他について            6/10高等学校改革検討小委員会(第8回)            ・プロジェクトチームとの意見交換会            教育内容(学科)他について</p>
7月		<p>7/15 高等学校改革検討小委員会(第9回)            ・県教育委員会との懇談会            新校の基本的規模は6学級とするが、開校時には7学級とする案が示される。            7/17議会地域課題検討委員会(第5回)            ・両校についての資料を基に検討            7/23高等学校改革検討小委員会(第10回)            ・プロジェクトチームとの意見交換会            教育内容(学科)他について</p>
8月	8/6高校再編に係る懇談会(県教育委員会主催) 「長野県高等学校再編計画の骨子案」について	<p>8/5 高等学校改革検討小委員会(第11回)            ・県教育委員会との懇談会            学科については工業系5学科、商業系2学級とし、コース制・&lt;&lt;り募集も検討していく案が示される。            ・以下のとおり小委員会の集約をし、一旦終了とする。            新校の基本理念について別紙「基本的事項に関する整理」としてまとめた。            学校規模について、1学年6学級を基本に据えつつも、開校時は7学級とすることを了承。            学科等教育内容について、開校時には工業系5学科、商業系2学級の構成とすることが適当と判断。            新校の校地、施設・設備について、結論は今後の広域連合・議会等での議論に委ねる。残った校地の有効活用については、県がその責任において、着実に実施することを強く希望する。            県教育委員会は、今回の計画を第1期と位置づけている。当地域では第2期の高校改革の検討は避けられない。その際は、普通科高校や地域校を含めた広範で抜本的な議論が必要。            8/5議会地域課題検討委員会(第6回)            ・高等学校改革検討小委員会検討結果報告の 及び            について了承。            ・新校の校地、施設・設備については、当委員会の意見を示すこととし、各市町村議会で意見を聞き次回で結果を集約することとする。</p>

区分	長野県(教育委員会等)	南 信 州
8月		<p>8/25議会地域課題検討委員会(第7回)  ・新校の校地、施設・設備について、以下のとおり集約し、議会全員協議会へ報告することとする。  総合的見地で「ものづくりの拠点(校)整備」という大目標と将来的な地域教育の観点からの兼ね合いにおいて、長姫高校用地の方が優先度がやや高いものと判断。  最終的な選択は県教委へ委ねるが、残った校地校舎については、県がその責任において、飯田市や地元地区と充分協議し、有効利活用することを強く求める。  8/25南信州広域連合議会全員協議会  地域課題検討委員会の集約を了承することで集約された。集約に以下の付帯意見が付された。  校地の選定に当たっては、地域全体の高校配置のバランスを考慮する必要がある。  今まで学んでいた子供達の目指していたものが変わってしまうまいよう、学科等教育内容の検討は慎重にしてもらいたい。  8/29高等学校改革についての説明会(座光寺地区)  飯田工業高校と飯田長姫高校の統合に関するこれまでの経過並びに広域連合の考え方について</p>
9月	<p>9/9「長野県高等学校再編計画の骨子」を決定  飯田工業高校と飯田長姫高校の統合による飯田新校は、全日制は基本的には1学年6学級規模が適当であるが、開校時には7学級規模とし、定時制については2学級規模とすることが適当であると考えられる。  両校の統合計画を進めるが、第2期においては新たな再編を計画する必要がある。</p>	<p>9/9 高等学校改革についての説明会(県地区)  飯田工業高校と飯田長姫高校の統合に関するこれまでの経過並びに広域連合の考え方について  9/17高等学校改革についての説明会(座光寺地区)  飯田工業高校と飯田長姫高校の統合に関するこれまでの経過並びに広域連合の考え方について  9/24座光寺地域自治会から「飯田工業高校と飯田長姫高校の統合新校についての要望書」提出</p>
10月	<p>10/29「高等学校の今後の産業教育の在り方について等」長野県産業教育審議会(答申)  新しいタイプの専門校として「総合技術高校」を提唱。</p>	<p>10/9高等学校改革についての説明会(座光寺地区)  「飯田工業高校と飯田長姫高校の統合新校についての要望書」検討経過と広域連合の考え方(回答)について  県教育委員会に対して広域連合議会全員協議会での集約と共に、両校所在地から出された意見についても同等に検討してもらえるよう伝えていく  県教育委員会へ校地の決定前に両地区の声を直接聞く機会を持ってもらうようお願いしていく。  県教育委員会出される結論は真摯に受け止め、その実現に向け取り組んでいく。  10/24県教育委員会に対する高等学校改革検討の推進に関する要望  校地に関する事項を中心に、該当地域の熱い思いを重く受け止め、その内容を並記した。  関係地域の声を直接お聞きいただく中で、これらを総合的に賢察の上、当地域とこどもたちの将来に鑑みて方針を決定されたい。  残った校地校舎については、県教育委員会が飯田市、更には関係地域と充分協議の上その責任において、有効活用を図ることを強く要望。</p>
11月	<p>11/18再編統合について実施計画策定  飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合  募集開始年度 平成25年度  活用する校地校舎 飯田長姫高校  課程・学科・学級規模 全日制 工業科5学級、商業科2学級  定時制 普通科1学級、工業科1学級  「ものづくりの拠点校」にふさわしい「総合技術高校」を構想</p>	<p>11/10 高等学校改革検討小委員会(第12回)  第11回小委員会以降の経過等について  長野県産業教育審議会の答申について  11/20 高等学校改革検討小委員会(第13回)  飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合(実施計画)について  11/25広域連合議会において県教委から示された「飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合」を報告</p>
12月	<p>12/12飯田工業高校と飯田長姫高校の統合案について県議会で同意される。</p>	<p>12/1 県議会議長に対する高等学校改革の推進に関する要望  11月18日の県教育委員会で決定された実施計画により、飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合を推進すること。  再編計画の中で最優先に取組、ものづくりの拠点校(基幹校)に相応しい施設・設備を整備すること。  残った校地校舎については、県及び県教育委員会が当広域連合や飯田市、更には関係地域と充分協議の上、その責任において有効利活用を図ること。</p>

区分	長野県(教育委員会等)	南 信 州
平成21年 1月		1/8県教育委員会から 高等学校改革についての座光寺地区・県地区説明 飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合 統合校が活用する校地について他
2月	2/18「第1期長野県高等学校再編計画(案)」を決定 飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合を実施する。	2/23広域連合議会全員協議会において、県知事・県議会議長要望等について報告
4月	4/27高校再編に係る懇談会 「第1期長野県高等学校再編計画(案)」について 飯田新校の概要について	
6月	6/8「第1期長野県高等学校再編計画」を決定 飯田工業高校と飯田長姫高校の再編統合を実施する。 募集開始年度 平成25年度 活用する校地校舎 飯田長姫高校 課程・学科・学級規模 全日制 工業科5学級、商業科2学級 定時制 普通科1学級、工業科1学級 「ものづくりの拠点校」にふさわしい「総合技術高校」を構想する。	6/2県議会文教企業委員会に対して広域連合長及び広域連合議会議長名で「高等学校改革推進に関する要望書」提出 県下第1号の総合技術高校(ものづくりの拠点校(基幹校))にふさわしい教育環境(施設・設備等)を整備すること。 このため、教育環境整備に必要な予算を確保すること。 学校・教育関係者等の意見を聞き検討を進めること。
7月		7/10飯田工業高等学校・校地後利用懇話会(第1回) 飯田工業高等学校の概要について他
10月		10/23「飯田工業・飯田長姫統合校校舎建設計画(案)」が県教育委員会より示される。高等学校改革小委員会は提案の基本方針を了承。 ・現飯田長姫高等学校の西隣の用地を買収して校地を拡張するとともに、校舎南側の施設を再整備し、新校舎を新設する。
		10/29飯田工業高校同窓会・飯田長姫高校同窓会から広域連合長に要望書が提出される。 さらなる校地の拡張に努力されたい。 校地の周辺に余裕を持たせた設計に努力されたい。 施設整備の最新化を含めて充実を図られたい。
11月		11/27広域連合議会全員協議会において、「飯田工業・飯田長姫統合校校舎建設計画(案)」について報告
12月		12/24飯田工業高等学校・校地後利用懇話会(第2回) 飯田工業高等学校の概要について(現地視察)他
平成22年 7月		7/16県議会文教企業委員長に対して広域連合長並びに広域連合議会議長名で「高等学校改革の推進に関する要望書」提出。飯田工業高校校地校舎については、県及び県教育委員会が当広域連合や飯田市、更には関係地域と十分な協議の上、その責任において有効活用を図ること。
11月		11/15県知事に対して広域連合長並びに広域連合議会議長名で「高等学校改革の推進に関する要望書」提出。更なる校地の拡張に取り組みたい。